

令和２年度使用教科用図書 答申資料（第２地区）

算 数		東 書（東京書籍株式会社）
総 評		対話的な学びを実現する手立てとして、ノートの例示が工夫されており、各学年の発達段階に合わせ、友達の考えを書くことの紹介がある。 「学びのとびら」などで、問題解決の過程や結果の振り返りが分かりやすく示されている。 「つないでいこう 算数の目」などで、数学的に考える資質、能力を育むための工夫がされている。 中学校へのつながりを扱うページがやや少ない。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ ノートの例示では、友達の考えを書くことが紹介されており、対話的な学びの実現が図られている。（３年上 P. 45）③ ○ 「学びのとびら」では、問題提示からめあて、解決、まとめへと、問題解決学習の流れが分かりやすく示されている。（２年上 P. 2、3）③
	2 内容の取扱い	○ 数学的な見方・考え方ができるようにするために、単元の終末に「つないでいこう 算数の目」が設定されている。（６年 P. 23、４年上 P. 54 など）① ○ 単元の終末に「生かしてみよう」が設定されており、算数で学んだことを生活や学習に活用できるように工夫されている。（２年上 P. 49、４年上 P. 32）⑥ ○ ノート例を通して、友達の考えを記録したり、学習全体を振り返ってまとめを書いたりすることが示され、統合的・発展的に考察する力を養うよう工夫されている。（６年 P. 4、5）④ ○ ２年生以上で巻末に「おもしろ問題にチャレンジ」を設けており、発展的な内容や日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けることができるよう工夫されている。③
	3 外的要素	○ １年生第一分冊では、ノート機能も併せ持っており、発達段階的な配慮がされている。① ○ 巻末付録が学習に応じたものになるよう工夫されており、児童が使いやすいように配慮されている。③
	4 構成・配列	○ 理科（４年 P. 12、20）や生活科（１年下 P. 26、P. 97）など他教科と関連した内容の問題場面が充実しており、教科横断的な配慮がされている。① ○ 単元の導入にこれまでの学習の振り返りページを設定し、つながりのある単元の復習ができるように配慮されている。（３年上 P. 48、５年上 P. 8 など）②
	5 資料・その他	○ 問題場面に合った写真やイラストになるよう配慮されているので、問題場面がイメージしやすい。（３年下 P. 2、５年下 P. 20 など）③ ○ 計算場面や道具の使い方などで、デジタルコンテンツが用意されており、最新の統計情報が見られるため学習意欲につながる。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 学習のヒントとなるふき出しがやや多く掲載されており、自ら問題意識をもって、考える学習を展開するには、指導者の工夫が必要である。③
	2 内容の取扱い	○ ４年上で世界のわり算が取り上げられているが、わり算が苦手な児童にとって混乱を招きやすい。②
	3 外的要素	○ 挿絵は、商品名が推測できるものが多数掲載されており、宣伝につながるものもある（２年上 P. 12 など）③
	4 構成・配列	○ 中学校へのつながりを扱うページがやや少ない。①
	5 資料・その他	○ 資料が２０１５年（６年 P. 190）や２０１６年（４年上 P. 21、P. 32）など古いものがある。①

算 数	大日本（大日本図書株式会社）	
総 評	対話的な学びを実現する手立てとして、「算数まなびナビ」などで、ペア・グループ学習を含めた対話的な学びの方法が例示されている。 「読みとる力をのぼそう」などが全学年で設定されており、文章や、図、グラフから論理的思考力・判断力・表現力が育成できるよう工夫されている。 基礎的・基本的な知識技能を定着させる問題は充実しているが、発展問題の取り扱いが少ない。 デジタルコンテンツがすべて英語で表記されていたり、練習問題の文字とまとめの文字が同じ大きさだったり、表記に課題が残る。	
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 巻頭の「算数まなびナビ」において、ペア・グループ学習を含めた対話的な学びの方法が例示されており、対話的な学びの実現が図られている。（全学年 P.6～P.9）③ ○ 全学年において「読みとる力をのぼそう」が設定されており、論理的思考力・判断力・表現力を育成するよう工夫されている。（２年 P.166、167 など）④
	2 内容の取扱い	○ 「算数たまたばこ」では、日常の事象を数理的に処理する場面や学習したことを使ったゲームなどを多く取り上げ、数学的活動の楽しさや数学のよさに気づくことができるよう工夫されている。（２年 P.59、PP.95、P.115 など）⑥ ○ 「じっくり深く学び合おう」では、これまでの学習をもとに見通しをもち、筋道を立てて考えるような問題場面が設定されている。（３年 P.19）④ ○ プログラミングに触れる特設ページを全学年に設け、数学的な見方・考え方を発展させることができるように工夫されている。（２年 P.212）①
	3 外的要素	○ 作図の様子について、写真を使用し、見やすく分かりやすいように配慮されている。（３年 P.100、P.101）③
	4 構成・配列	○ 国語科（４年 P.38）、外国語活動（P.72）、など、他教科と関連した内容の問題場面が充実しており、教科横断的な配慮がされている。① ○ 全学年が合冊になっており、単元の見通しや学習の振り返りがしやすくなっている。① ○ 学習した内容を振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりできるように、「ふりかえろう」や「おうちで算数」が設けられている。②
	5 資料・その他	○ 「ふくろう先生になるほど算数教室」では、算数にまつわる話や、算数を生かして仕事されている方へのインタビューが取り上げられており、児童が算数に興味をもち、学習意欲が高まるよう工夫されている。② ○ 計算の練習や図形の学習の場面では、家庭でも利用できるデジタルコンテンツが用意されており、児童が興味をもち、学習意欲を引き出せるように工夫されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ １・２年生の教科書が合冊で、比較的重い。④
	2 内容の取扱い	○ 「プラス・ワン」など、基礎的・基本的な知識技能を定着させる問題は充実しているが、発展問題の取り扱いが少ない。④
	3 外的要素	○ 練習問題の文字がまとめと同じ大きさのため、読みづらく、指導する際に配慮を要する。（全学年）② ○ ２年「１０００より大きい数」の図では、背景と１０００のまとまりが同じ色になっており、色使いに課題がある。（２年 P.66、67）③
	4 構成・配列	○ １時間の学習内容としてはやや少ないところがある。（４年 P.183）②
	5 資料・その他	○ ５・６年「プログラミングにちょうせん」のデジタルコンテンツがすべて英語で表記されており、発達段階に やや合っていない。①

算 数		学図（学校図書株式会社）
総 評		2年生以上の巻頭に記載されている「算数で見つけない考え方（モンスター）」が論理的思考力・判断力・豊かな表現力を育成する手立てとなっている。 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に役に立つよう、「3つの学び方で学習を進めよう」のページが設けられている。 学習段階が分かりにくく、学習過程の振り返りに配慮されたものが少ない。 吹き出しなどが多く、内容が分かりにくくなっているうえ、全体的に発展的内容が少なく、学びに向かう態度の育成に少し課題がみられる。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 論理的思考力・判断力、豊かな表現力等を育成できるよう、2年生以上の巻頭に「算数で見つけない考え方（モンスター）」が示されている。④ ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に役に立つよう、「3つの学び方で学習を進めよう」のページが設けられている。③
	2 内容の取扱い	○ 各単元導入「？を発見」では、日常の事象をもとに、数学的な見方や考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考えられるような問題場面が設定されている。① ○ 単元末問題を「できるようになったこと」と「まなびにいかそう」の2つにし、その単元で学習した知識・技能を明確にしながら、その知識・技能を生かして考察できるように工夫している。②
	3 外的要素	○ 6年生に、別冊として「中学生へのかけ橋」をつけ、中学校への進学を前にした児童が、数学に興味をもち関連内容を学習していけるよう工夫している。① ○ 1年生が上下分冊になっているので、軽くて薄いので、取り扱いやすい。1年生の発達段階に配慮がされている。①
	4 構成・配列	○ 生活科（1年下P71）体育科（6年P16・19）理科（6年P52）など、他教科と関連した内容の問題場面を充実しており、教科横断的な配慮がされている。① ○ 1年生から各学年に、プログラミング的思考を育成するためのページを設定し、QRコードによって実際に操作することができるようにしている。②
	5 資料・その他	○ 「算数で見つけない考え方」がモンスターのキャラクターと結び付けて示されていて、子どもたちが興味をもって「見方・考え方」をゲットしていくような設定をしている。② ○ 自然の中のものを題材として取り上げることで、自然を大切にし、環境問題に数理的に関わっていこうとする態度を育成しようとしている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 全体的に発展的内容が少なく、学びに向かう態度の育成に少し課題がみられる。⑥
	3 外的要素	○ 絵や吹き出しなどが多過ぎて、内容が分かりにくくなっている。①
	4 構成・配列	○ 学習段階が分かりにくい。学習過程の振り返りに配慮されたものが少ない。②
	5 資料・その他	○ 題材が全体的にやや古い。②

令和2年度使用教科用図書 答申資料（第2地区）

算 数		教出（教育出版株式会社）
総 評		2年生以上の巻頭に「算数でつかいたい考え方」が示されており、論理的思考力・判断力、豊かな表現力等を育成する手立てとなっている。 日常の事象を数理的に処理する場面が多く紹介されており、学習した内容を振り返った後、生活に数学的な見方・考え方を生かすことができるよう工夫されている。 1年生の教科書が合冊で比較的重く、また、教科書に書き込むには、枠が小さい。 巻末に教具の扱いが示されているが、学習時に使用することを考えるとやや扱いにくい。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 論理的思考力・判断力、豊かな表現力等を育成できるよう、2年生以上の巻頭に「算数でつかいたい考え方」が示されている。④ ○ ノートの例示では、友だちの考えを書くことが紹介されており、対話的な学びの実現が図られている。（2年上 P.34）
	2 内容の取扱い	○ 各単元導入「どんな学習がはじまるかな？」では、日常の事象をもとに数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考えられるような問題場面が設定されている。① ○ 4年生以上で「広がる算数」のコーナーを設けており、発展的な内容や日常の事象を数理的に処理する場面が数多く紹介されている。③ ○ 統計まちがいクイズにちょうせん！など発達段階に応じて、資料を批判的に考察する力が養えるよう工夫されている。（4年下 P.148）⑥ ○ 机が入り口を通るかなどといった日常の具体的な体験を伴う学習について適切に取りあげられている。（1年 P.130）
	3 外的要素	○ 1、5、6年生が合冊になっており、単元の見通しや学習の振り返りがしやすくなっている。 ○ 作図の様子について、色づかいやイラストが配慮され、見やすく分かりやすい。吹き出しで数学的な視点が明確になるよう工夫されている。（5年 P.64）③
	4 構成・配列	○ 生活科（1年 P.86）や理科（4年上 P.45）、社会科（5年 P.185）など、他教科と関連した内容の問題場面が充実しており、教科横断的な配慮されている。① ○ 学習した内容を振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりできるように、「学んだことを使おう」が設けられている。②
	5 資料・その他	○ 単元末のふりかえろうでは、4コマ漫画を通して、学習内容の重要性についてユーモアを交えて確認することができる。（2年上 P.111）② ○ オリンピック・パラリンピックに関連した資料が取り上げられ、児童が興味をもち、学習意欲を引き出したり、生活に生かそうとしたりできるよう工夫されている。（3年上 P.130）
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 学習段階が分かりにくく、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の視点で指導する際に配慮が必要。③ ○ 1年生の教科書が合冊で比較的重い。④
	2 内容の取扱い	○ 「学びの手引き」として巻末に数学的な見方・考え方や教具の扱いなどが示されているが、学習時にリンクさせることは困難。②
	3 外的要素	○ 教科書に書き込むには、他社と比べて枠が小さく書きにくい。（2年上 P.21 8mm×8mm 他社は10mm×15mm）②
	4 構成・配列	○ わり算の導入が包含除からとなっているため、これまでの指導方法を見直す必要がある。（3年上 P.53）①
	5 資料・その他	○ 紹介されている写真について、比較的関東のものが多く、大阪の児童にとって興味・関心を高める資料となりにくい。（6年 P.176）②

算 数		啓林館（株式会社新興出版社啓林館）
総 評		問題提示から課題発見、解決、まとめへと、問題解決学習の流れが分かりやすく示されている。 全学年の巻末に記載されている「学びにいかそう」から、学んだことを生活に活用し、よりよく問題解決していく態度を養う工夫がされている。 巻末付録が発展的なものやわかりやすい手立てとなるものではなく、学びに向かう態度の育成に課題がみられる。 学習内容や過程を振り返る手立てとなるものが少ない。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 巻頭をはじめ、あらゆるところにQRコードが示され、保護者もデジタルコンテンツが利用できるように配慮されている。① ○ 問題提示から課題発見、解決、まとめへと、問題解決学習の流れが分かりやすく示されている。③
	2 内容の取扱い	○ 全学年の巻末に基礎的内容の習熟が図られるようになっている。② ○ 日記を題材にするなど、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付ける工夫がされている。（2年下P.114）③ ○ ノート例を通して、友だちの考え記録したり、学習全体を振り返って気づいたことを書いたりすることが示され、統合的・発展的に考察する力を養うよう工夫されている。（5年P.9）④ ○ 全学年の巻末に「学びをいかそう」が設けられており、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度や算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養うよう工夫されている。⑥
	3 外的要素	○ 数量について認知しやすいよう、ブロックが5こと幾つに並べて示されている。③ ○ QRコードから利用できるデジタルコンテンツには、問題場面が音と映像で提示され、視覚的聴覚的に分かりやすく、ユニバーサルデザインに関する配慮がみられる。④
	4 構成・配列	○ 社会科（4年下P.114）や音楽科（5年P.172）など、他教科と関連した内容の問題場面が充実しており、教科横断的な配慮がされている。① ○ 1、5、6年と上下合冊になっており、単元全体の見通しや内容の関連が把握しやすい。② ○ 6年「ひろがる算数」では中学校との関連の内容が示されている。①
	5 資料・その他	○ 単元導入について、日常の事象から問題を見出せるように、写真が多く活用されるなど、工夫が随所にみられる。① ○ 6年「ひろがる算数」ではさまざまな職業と数学という形で中学校との関連の内容をはじめ、児童が興味をもち、学習意欲を引き出すように工夫されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ ノート例が少し児童の発達に適していない。（2年P.9）④ ○ 1年生の教科書が合冊で比較的重い。④
	2 内容の取扱い	○ 全体的に発展的な内容が少なく、学びに向かう態度の育成に課題がみられる。⑥
	3 外的要素	○ 巻末付録がしっかりとした素材で丈夫であるが、特に必要のないものが多く含まれている。①
	4 構成・配列	○ 学習の内容や過程の振り返りに配慮されたものが少ない。②
	5 資料・その他	○ 資料が2016年（5年P.109）など古いものがある。①

算 数		日 文（日本文教出版株式会社）
総 評		主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に役に立つよう、「学び方ガイド」を上巻巻末の付録に設け、切り取って常時参照しながら学習を進めることを可能にしている。 子どものノートの記述例を見開きで示し、思考力や表現力が高まるよう配慮されている。 巻末に補充的な内容と応用的・発展的な内容をバランスよく取り扱い、数学的なおもしろさを感じ得できるようにしてある。 算数で学んだことを生活や学習に活用する学び方が、示唆されている部分が少ない。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に役に立つよう、「学び方ガイド」を上巻巻末の付録に設け、切り取って常時参照しながら学習を進めることを可能にしている。③ ○ 「算数ノートをつくろう」では、子どものノートの記述例を示し、思考力や表現力が高まるよう配慮されている。④
	2 内容の取扱い	○ 問題提示から課題発見、解決まとめへと、問題解決学習の流れが分かりやすく示されている。④ ○ 単元末の「確かめポイント」では、その単元で学習した基礎的・基本的な内容を確認できるようにしている。② ○ 巻末に「マイトライ」を設け、補充的な内容と応用的・発展的な内容をバランスよく取り扱い、手ごたえがあり、数学的なおもしろさを感じ得るようにしてある。学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度や算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養うよう工夫されている。⑥
	3 外的要素	○ 1年生が上下分冊になっており、軽くて薄いので、取り扱いやすい。1年生の発達段階に配慮がされている。① ○ 付録の図形を切り取る際、頂点まできれいに切り取れるよう配慮がされている。① ○ 「算数マイトライ」では、どのページが基礎・基本、応用、発展問題かが分かりやすく色分けされている。①
	4 構成・配列	○ 生活科（1年上 P. 71）体育科（6年 P. 93、94）家庭科（6年 P. 120）など、他教科と関連した内容の問題場面を充実しており、教科横断的な配慮がされている。① ○ 活動への意欲を高め、学んだことを進んで生活に生かす態度が身につくように、「Hello Math」が設けられている。②
	5 資料・その他	○ 「マテマランドを探検しよう」はテーマ毎にまとめられた複数の算数に関する話題の中から、個人やグループの興味・関心に応じて課題を解決しながら探究的な学習が進められるようになっていて、児童の学習意欲を引き出す工夫がある。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ QRコードが示されていないので、保護者への配慮がやや不足している。①
	2 内容の取扱い	○ 算数で学んだことを生活や学習に活用する学び方が、示唆されている部分が少ない。⑥
	3 外的要素	○ 「学び方ガイド」「算数で使いたいことば・考え方」を上巻巻末の付録に設け、切り取って常時参照しながら学習を進めることを可能にしているが、子ども自身が管理しにくい。①
	4 構成・配列	○ 単元末に生かす問題が設定されていない。②
	5 資料・その他	○ 絵が多く、写真がやや少ない。②